

○補助金及び交付金一覧

No.	名 称	所管課	交付等の目的・内容（成果指標）	交付先名称	総事業費 (円単位)	補助金額 (円単位)	補助率	補助金の積算根拠	補助上限額	事業の効果検証	補助金の適合状況(担当課の評価)							
											補助額・ 率は適正 である	団体運営 費補助で はない	重複・類 似の補助 事業では ない	補助金と しての支出が適切 ではない	補助交付 先の選定 方法は適切である	補助交付 先の財政 状況を把握している	再補助は 実施して いない。	
【3 款 民生費】																		
1	社会福祉協議会 運営費補助金	介護福祉 課	町の福祉施策との連携の強化並びに 社会福祉協議会の地域福祉推進に係 る活動の支援と運営基盤の安定を図 ることを目的として 補助金を交付 する。（令和6年度の社会福祉協議 会実施事業への参加者延べ1,500 人を目標）	町社会福祉協議 会	48,620,809	23,768,000	10/10	48,620,809円（総事業費）－ 11,141,160円（委託料に含ま れる人件費）－13,711,648円 （その他人件費財源）	予算の範囲	社協では、介護保険関係事業や障 害福祉関係事業以外に生活困窮者 支援など地域福祉事業を実施して いる。介護保険や障害福祉関係事 業は事業収入により事業が実施さ れているが、地域福祉事業は財源 が乏しく、自主財源だけで実施す ることは困難である。地域福祉事 業に関わる社協の常勤職員の人件 費の内、自主財源で不足する金額 を助成することで、地域福祉事業 を実施することができていること から、地域福祉の推進に加え、福 祉施策との連携を促進できたもの と考える。	A 適合し ている	C 不適合 である が、合理 的理由が ある	A 適合し ている	A 適合し ている	C 不適合 である が、合理 的理由が ある	A 適合し ている	A 適合し ている	
2	町遺族会補助金	介護福祉 課	遺族に対する福祉増進を図るため行 われる平和、反戦等社会福祉活動 を、各地区（砥部・原町・広田）で 行っている遺族会に対し交付金を交 付する。（令和6年度末まで遺族会 会員数350人維持を目標）	町各地区遺族会	121,684 （砥部） 213,680 （原町） 122,824 （広田）	121,684 （砥部） 160,000 （原町） 37,824 （広田）	10/10	121,684円-0円（対象外経 費）＝121,684円（砥部） 160,000円（予算額）（原 町） 122,824円-85,000（対象 外）＝37,824円（広田）	予算の範囲	遺族会では、地区の慰霊碑の清掃 や町戦没者追悼式や県戦没者追悼 式への参加などを行っている。恒 久平和は町民の願いであり、戦後 約80年を経過しても、続いてい る今の平和は、戦没者の犠牲の上 に築き上げられたものであり、そ の遺族が行う慰霊活動を支えるこ とで、戦争体験等の風化防止及び 遺族に対する福祉の向上が図られ たものとする。	C 不適合 である が、合理 的理由が ある	A 適合し ている	A 適合し ている	A 適合し ている	C 不適合 である が、合理 的理由が ある	A 適合し ている	A 適合し ている	
3	県更生保護会交 付金	介護福祉 課	刑余者等の社会復帰のための補導及 び援護を目的に活動する県更生保護 会に対し交付金を交付する。（令和 6年度の防犯・非行防止の啓発等の 活動回数100回実施を目標）	県更生保護会	46,802,041	20,280	10/10	令和6年4月1日現在人口×1円 ＝20,280円	予算の範囲	県厚生保護会は、更生保護法人愛 媛県更生保護会が運営する保護施 設で、更生保護会は、矯正施設を 出所・出院し、新たな人生を歩も うとも、行き場のない人たちを保 護し、社会復帰できるよう、生活 基盤の提供や、社会復帰のための 指導や援助、自立に向けた指導や 援助などが行われており、再犯や 再非行の防止を図ることができた ものとする。	A 適合し ている	C 不適合 である が、合理 的理由が ある	A 適合し ている	A 適合し ている	C 不適合 である が、合理 的理由が ある	A 適合し ている	A 適合し ている	
4	伊予地区保護司 会交付金	介護福祉 課	罪を犯した者の更生保護と施設に収 容された者に対する環境調整等に努 め、地域社会の犯罪予防を目的に活 動する保護司会に対し交付金を交 付する。（令和6年度の防犯・非行防 止の啓発等の活動回数50回実施を 目標）	伊予地区保護司 会	6,071,111	471,040	10/10	20,480人（国勢調査人口）× 23円＝471,040円	予算の範囲	伊予地区保護司会では、刑務所出 所者等の就労支援や住居の確保な どについての研修、各小中学校へ 出向いての薬物乱用防止教室、社 会を明るくする運動による犯罪予 防活動、更生保護女性会との連携 による社会貢献活動など様々な活 動が行われており、活動を支援す ることで、更生に対する地域社会 の支援と理解を醸成するとともに 、犯罪や非行のない社会の安全 ・安心な社会づくりを推進するこ とができたものとする。	A 適合し ている	C 不適合 である が、合理 的理由が ある	A 適合し ている	A 適合し ている	C 不適合 である が、合理 的理由が ある	A 適合し ている	A 適合し ている	
5	伊予地区更生保 護女性会交付金	介護福祉 課	更生保護の心を広め、次代を担う青 少年の健全な育成に努め、過ちに 陥った人の更生の支えとなり、明る く住みよい社会づくりを目指す地区 女性会に対し交付金を交付する。 （令和6年度の防犯・非行防止の啓 発等の活動回数30回を目標）	伊予地区更生保 護女性会	1,344,495	81,920	10/10	20,480人（国勢調査人口）× 4円＝81,920円	予算の範囲	更生保護女性会は、地域の犯罪予 防活動と犯罪をした人や非行のあ る少年の更生支援活動を行うボラ ンティアで、矯正施設や更生保護 施設への訪問や、冊子「和心」の 発行、ミニ集会などを行っている。 活動を支援することで、伊予地 区における、罪を犯した人たち と、社会の繋がりを醸成し、再犯 や再非行の予防を図ることができ た者とする。	A 適合し ている	C 不適合 である が、合理 的理由が ある	A 適合し ている	A 適合し ている	C 不適合 である が、合理 的理由が ある	A 適合し ている	A 適合し ている	

○補助金及び交付金一覧

No.	名 称	所管課	交付等の目的・内容（成果指標）	交付先名称	総事業費 （円単位）	補助金額 （円単位）	補助率	補助金の積算根拠	補助上限額	事業の効果検証	補助金の適合状況(担当課の評価)							
											補助額・ 率は適正 である	団体運営 費補助で はない	重複・類 似の補助 事業では ない	補助金と しての支出が適切 ではない	補助交付 先の選定 方法は適切である	補助交付 先の財政 状況を把握している	再補助は 実施して いない。	
【3 款 民生費】																		
6	更生保護女性会 砦部支部交付金	介護福祉課	更生保護の心を広め、青少年の健全な育成に努め、過ちに陥った人の更生の支えとなり、明るく住みよい社会づくりを目指す女性会砦部支部に対し交付金を交付する。（令和6年度の防犯・非行防止の啓発等の活動回数10回を目標）	伊予地区更生保護女性会砦部支部	279,194	77,000	10/10	27人（会員数）×1,000円 +50,000円＝77,000円	予算の範囲	伊予地区更生保護女性会の砦部支部で、事業活動の多くは伊予地区更生保護女性会と共同で実施しているが、砦部支部として「社会を明るくする運動砦部の集い」の開催に尽力するとともに、町議会議員との意見交換なども実施している。活動を支援することで、伊予地区及び砦部町における再犯や再非行の予防を図ることができたものと考えている。	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	
7	町民生児童委員協議会交付金	介護福祉課	民生児童委員活動の推進と委員相互の連携を図るための経費として交付する。（令和6年度の民生児童委員相談・支援等の活動件数9,000件を目標）	町民生児童委員協議会	503,643	195,000	1/2	503,643円（対象経費）× 1/2＝251,821円≒195,000円（予算額）	予算の範囲	民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い社会福祉の増進に努めており、児童委員も兼ねている。民生児童委員には給与は支給されず、僅かな報酬が支給されている。こういった状況の中で民生児童委員が組織する民生児童委員協議会が活動を円滑に行うための研修や福祉施設の訪問、大会参加等を支援することで、委員の知識向上を図り、委員の活動と委員相互の連携を円滑に実施できるよう支援することができたものと考えている。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	
8	障がい者福祉団体活動費補助金	介護福祉課	障がい者福祉団体が行う公益性のある活動に対して、その活動費の一部を補助することにより、団体の活性化及び障がい者福祉の増進を図る。（令和6年度末までとべひびき会の会員数46人維持を目標）	とべ・ひびき会	0	0	1/2	総会（59,000円）・1日研修会（223,000円）・耳の日学習会（118,000円）	予算の範囲	令和5年度は新型コロナが5類に移行したとはいえ、数年間のブランクもあり、元通りの活動に戻らなかったため、補助実績はなく効果はなかったと考える。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	
9	地域活動支援センターⅢ型事業費補助金	介護福祉課	社会福祉法人等が行う地域活動支援センターⅢ型事業の実施に要する経費に対し、補助金を交付することにより、障がい者等の地域生活支援の促進を図るとともに障がい者等に対する理解の促進を図る。（令和6年度の地域活動支援センターの1日あたりの平均利用者数10人を目標）	南風会	7,608,000	7,608,000	10/10	補助基準額509,000円×年間開設月数 加算基準額125,000円×年間開設月数	予算の範囲	新型コロナウイルス感染症の影響による利用人数の減少から、未だに回復できておらず、1日あたりの利用者数は7.3名となったが、創作的活動又は生産活動の機会の提供などに加え、新型コロナウイルス感染症への警戒心により施設へ来られない利用者に対しても、電話で状況確認や相談等による支援を行った。社会との繋がりを作り、社会参加と障がい者理解を促進することができたものと考えている。	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	
10	町シルバー人材センター事業費補助金	介護福祉課	高齢者等の就業機会の確保と提供に努め、もって高齢者等の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図るため、砦部町シルバー人材センターの事業に要する経費に対し助成する。（令和6年度末の町シルバー人材センター会員数280人を目標）	町シルバー人材センター	1,650,306	700,000	1/2	1加入促進事業、2健康増進事業 3安全対策事業、4就業知識・技能習得事業、5普及啓発事業 上記5つの事業にかかった額の1/2の額	700,000	砦部町シルバー人材センターは町内高齢者等の就業機会の確保と提供に努め、もって高齢者等の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化に取り組んでいる。パンフレットの作成やフェスタでの活動などによって、幅広い年代に対しシルバー人材センターの働きを周知できており、高齢者活用の機会獲得を図ることができた。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	

○補助金及び交付金一覧

[illegible]

○補助金及び交付金一覧

No.	名 称	所管課	交付等の目的・内容（成果指標）	交付先名称	総事業費 （円単位）	補助金額 （円単位）	補助率	補助金の積算根拠	補助上限額	事業の効果検証	補助金の適合状況(担当課の評価)							
											補助額・ 率は適正 である	団体運営 費補助で はない	重複・類 似の補助 事業では ない	補助金と しての支 出が適切 ではない	補助交付 先の選定 方法は適 切である	補助交付 先の財政 状況を把 握してい る	再補助は 実施して いない。	
【3款 民生費】																		
18	子育て世帯・若 年世帯住替え支 援事業補助金	子育て支 援課	町内で新築・中古住宅を購入し住替 えた子育て世帯・若年世帯に対し、 住宅取得費用の一部を助成し、定住 人口の増加を図る。（申請件数50 件を目指す。）	交付対象者	5,000,000	5,000,000	1/10	要綱に規定する対象事業で予算 の範囲内	200,000	若い世代の戸建て住宅の取得を応 援することで、人口減少を緩やかに するとともに、生産年齢人口の 比率を向上につながると考えられ る。	A 適合し ている	A 適合し ている	A 適合し ている	A 適合し ている	A 適合し ている	D 該当し ない	A 適合し ている	